

平成23年度 京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）成果

分類 番号	A	取組 名称	京都における木材製品の品質・環境性能両面からのブランド化
研究代表者： 生命環境科学研究科 准教授： 古田 裕三			
研究担当者： 京都府立大学（古田裕三、大越 誠） 外部分担者・協力者（瀧上佑樹氏、明石浩和氏、辻 亜矢子氏、竹原 豊氏 ほか）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京都府農林水産部林務課・モデルフォレスト推進課、京都府森林技術センター、京都府地球温暖化防止活動推進センター、京都府産木材認証制度運営協議会、京都府木材組合連合会 など			
【研究活動の要約】 2009年10月に施行された「木材利用促進法」は日本国の森林の健全な育成や地球温暖化防止等の一助として、木材（国産材）の需要を拡大するとともに、「低層公共建築物は原則木造化」することを義務付けたものである。この法律を受けて、京都府も2010年3月に「公共建築物等における京都府産木材の利用促進に関する基本方針」を策定し、京都府産木材の公共建築物への積極的導入および民間需要に向けて大きく動いているのが現状である。このような需要の高まりに対し、品質性能の確かな製品を安定供給するために、研究代表者らは、昨年までのACTRにおいて、日本農林規格（JAS）をもとに京都府の地域特性を考慮した木材の品質性能表示基準を策定した。また、ウッドマイレージ制度をさらにブラッシュアップさせたカーボンフットプリント（CFP）制度への移行に向けて検討を行い、一定の知見を得た。これらに関しては、今年度も引き続き調査・運用を行いつつ、社会実験を行い、必要に応じて適宜検討・修正を加える必要がある。そこで本研究では、【研究活動の成果】に示す（1）～（3）の検討を行った。そして、（1）～（3）で得られた成果を踏まえ、本研究課題である「京都における木材製品の品質・環境性能両面からのブランド化」を行った。			
【研究活動の成果】 （1）昨年度策定した品質基準の制度化に向けた、検査・運営体制の検討 検討会等で行政および業界関係者からヒアリングを行い、そのヒアリング結果とJASや他府県の制度の調査結果とを合わせ、京都において最適な制度運営案をまとめた。その結果、①JAS基準と同等の品質性能が担保された京都府産木材製品を出荷できる検査体制を構築できた。また、②林産業界にとって、無駄な労力やコスト負担を省いた運営体制を構築することができた。①+②より、品質が担保された京都府産木材を安定供給できる制度を策定することができた。これらの成果を受け、京都府では公共建築物の仕様にJASまたは本制度で品質性能が担保された木材製品を使用する旨を明記する動きとなっている。 （2）CFPの制度化に向けた、京都府産木材製品に対するCFP評価データの蓄積 京都府産木材を使用する府内事業者に対してヒアリングを行い、京都府産木材に対するCFP評価を行い、その結果を経産省が実施するCFP試行事業に提出し、CFPマークを取得することができた。これらの成果により、京都府産木材の環境性能を数値化でき、京都府産木材のCO ₂ 排出量をさらに削減するための効果的な対策を明らかにすることができたとともに、京都府に対してウッドマイレージ制度の改善案を提案することができた。 （3）「品質・環境性能両面からのブランド化」に向けた先進事例調査 京都府産木材の用途拡大のためのひとつに、圧密加工技術があるが、圧密加工技術による環境負荷が定量化された事例はほとんどない。そこで、先進事例である岐阜県産木材を使用した圧密加工の木材製品に対するCFP評価を行った結果、圧密加工された木材製品とされていない木材製品の環境性能を定量化することができた。そして、それらを比較することで、圧密加工による環境負荷の数値的根拠を明らかにすることができた。これらの成果より、「品質・環境性能両面からのブランド化」を行う上で、検討すべき課題を得ることができた。			

以上（１）～（３）の成果より、京都における木材製品の品質・環境性能両面からのブランド化に向け、大きな成果を得ることができた。

【研究成果の還元】

- H23/10/26 京都府職員福利厚生センター 関係者等約 50 名 ウッドマイルズセミナー2011「京都府産木材の品質基準と環境指標の領域拡大の取組」
- 瀧上 佑樹、神代 圭輔、古田裕三：地産地消型製材製品のプロセスの違いがカーボンフットプリントに与える影響 -京都府産認証木材を事例として-：木材学会誌（2012）（印刷中） 等

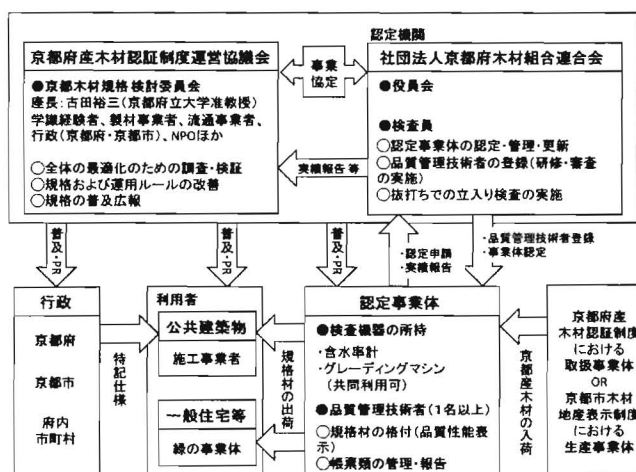
【お問い合わせ先】

生命環境科学研究科 生物材料物性学研究室 准教授：古田 裕三

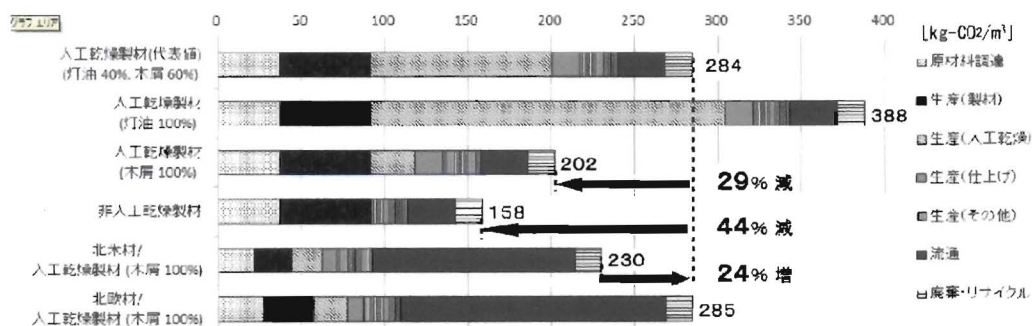
Tel: 075-703-5637

E-mail: furuta@kpu.ac.jp

参考（イメージ図、活動写真等）



品質性能表示制度の仕組み



京都府産認証木材(人工乾燥製材)と比較対象の CFP 評価による CO2 排出量の比較



ウッドマイルズセミナー2011：「京都府産木材の品質基準と環境指標の領域拡大の取組」の様子



京都府内の事業者に対する品質性能表示制度の説明会の様子